

県 政 だ よ り

あきた 新時代

7
2002
月号

平成14年7月1日発行(第82号)
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

☎018(860)1073

FAX 018(860)1072

sinjidai@pref.akita.jp

「新あきた21子どもプラン」のあらまし

国際系大学～平成16年4月の開学に向けて～

[まちむら元気ルポ]

秋田市[秋田藩ぐるり。市内観光バス]



バラまつりが行われている石田ローズガーデンを訪れた大館市立桂城幼稚園の子どもたち。あいにくの雨だけどこんなに元気。晴れた日にまた遊びに来るといいね。

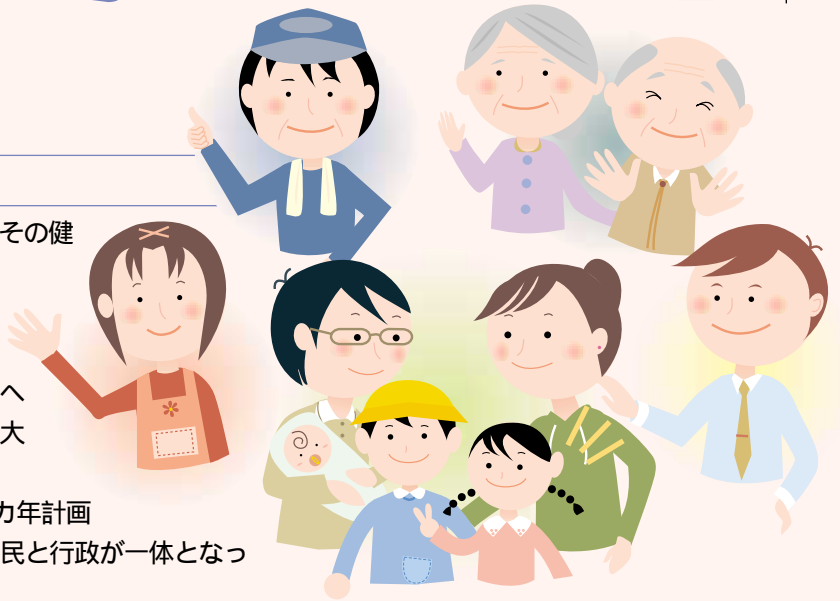
「新あきた21子どもプラン」の あらまし

子どもプランのねらい

子どもは社会にとってかけがえのない存在であり、その健やかな成長は県民すべての願いです。

県では、平成9年度に「あきた21子どもプラン」を策定しましたが、その後、少子化の一層の進行に加え、男女共同参画社会への関心の高まりや子どもへの虐待の増加など、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化しました。

このため、これまでのプランを見直し、新しい15カ年計画を策定するとともに、家庭や学校、職場などで、県民と行政が一体となってこのプランを推進していこうとするものです。



基本理念

社会全体で子育てを支援する
環境づくり

男女共同参画のための
環境づくり

子どもが健やかに育つための
環境づくり

基本目標

子育て支援
サービスの
充実

男女ともに
子育てに参画する
環境づくり

子育てと仕事の
両立のための
環境づくり

子どもの健やかな
成長のための
環境づくり

主な取り組み

「夢ある子育て・家庭づくり県民会議」を中心に、子どもを生み育てやすい環境をつくるための県民運動を展開します。

インターネットによる子育て情報の提供や各種の相談・支援体制を整備します。

乳児保育や延長保育、休日保育など、保育所における多様な保育サービスの提供を支援していきます。

放課後、児童が安心して遊びや交流を行うことができるように、学校の余裕教室の活用や児童館等の整備を促進します。

不妊に悩む人を対象として、不妊治療に関する専門的な相談に応じる「不妊専門相談センター」を充実します。

公共施設や大型小売店などに、授乳室やおむつ交換設備、託児コーナーが設置されるよう働きかけていきます。

働く女性を支援する優良企業を表章するとともに、結婚・出産により仕事を辞めた女性の再就職を支援します。

すべての市町村に児童虐待防止ネットワークを整備するとともに、不登校やいじめを防止するため、中学校に相談員を配置します。

詳しい内容は、「美の国秋田ネット」でご覧いただけます。

お問い合わせ 県子育て支援課 TEL018(860)1342

ホームページ: <http://www.pref.akita.jp/jido/index.html> Eメール: child@pref.akita.jp

国際系大学

～平成16年4月の開学に向けて～

県では、国際社会に通用する実践的な人材を育成するため、新たに「国際系大学(仮称)」を開学することになっていますが、これまでの主な検討状況を紹介します。



創設準備委員会の様子

1 こんな人材を育成します

1学部3課程にする予定です。

国際ビジネス課程

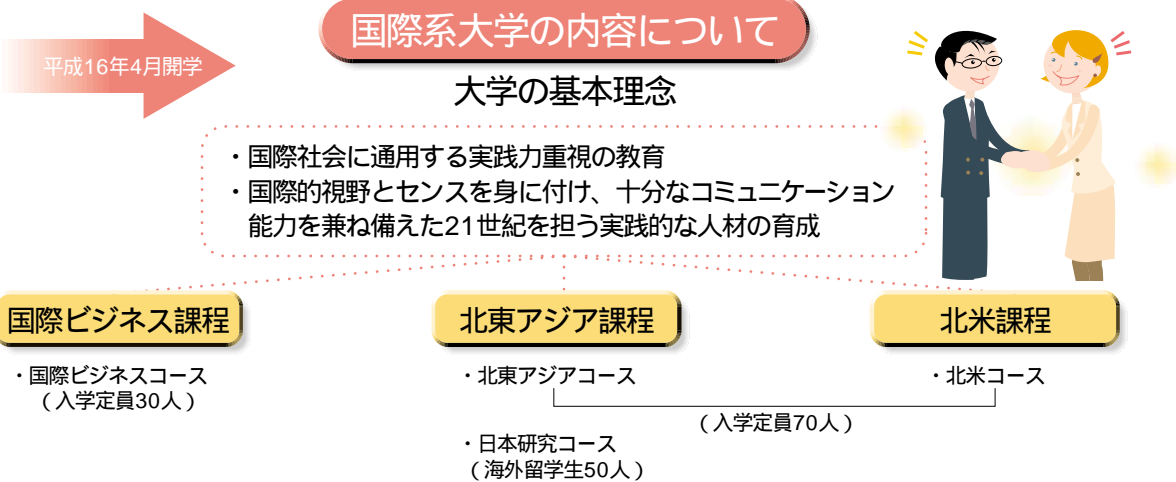
国際ビジネス社会の第一線で活躍できる幅広い専門知識を備えた人材を育成します。

北東アジア課程

北東アジア地域に関する基本的な知識を身につけ、これらの地域との交流に貢献できる人材を育成します。外国人留学生を対象にした日本研究コースも併設します。

北米課程

米国の政治・経済などについて研究し、今後のグローバル社会に貢献できる人材を育成します。



2 こんな特長を発揮します

- 世界の共通語として英語の重要性が増していることから、授業はすべて英語で行います。
- 高い評価を得ているミネソタ州立大学秋田校の英語教授法を活用します。
- 国際ビジネス課程では1年以上の海外留学を義務づけ、日米両大学の卒業資格取得を目指します。
- 一度社会に出た方に、高度な専門性を身につけてもらうための機会を提供します。

3 少ない経費で大きな効果をあげます

ミネソタ州立大学秋田校の校舎などを活用できますので、低コストでの開学が可能となります。

シンポジウムの開催

国際系大学について、できるだけ多くの皆さんに知っていただくため、シンポジウムを開催します。

テーマ : 「国際系大学が果たすべき役割は何か
～国際ビジネス教育をいかに秋田で実践するか～」

基調講演 : 生駒俊明氏(日本テキサス・インスツルメンツ株式会社社長)

日時 : 7月27日(土)午後1時30分～5時

場所 : 県庁第二庁舎8階大会議室

お問い合わせ | 県国際系大学設置準備室 TEL018(860)1226 FAX018(860)1225
ホームページ : <http://www.pref.akita.jp/gakujutu/kokusai.html>
Eメール : intluniv@pref.akita.jp

おいしく健康 あきたの旬野菜

野菜は「旬」の時期が最もおいしく、栄養価も高いとされています。しかし、最近は1年を通して野菜が出回るため、旬の時期が分かりにくくなっています。このため、県では、皆さんに県産野菜の「旬」の情報を提供することで、野菜本来の良さを味わい、感じ、そして豊かな食生活に結びつけていただくため、「旬」野菜需要増進キャンペーンを展開しています。

「旬」野菜、どんないいことがあるの？

「旬」野菜は、作物にとって最も適した時期に無理なく作られた野菜です。

そのため、

栄養分がいっぱい

おいしい

新鮮

人、環境にやさしい

値段も手頃

といった良い点がいっぱい。

7月のあきたの「旬」野菜は？

キャベツ、きゅうり、トマト、えだまめ、アスパラガス、なす、みょうが、スイカ、メロンなどです。

地場生産の新鮮で、安全で、おいしい野菜をどんどん食べて、夏ばてしない元気な体をつくりましょう。

どんなキャンペーンを展開しているの？

- ・親子「旬」野菜教室の開催（夏休み期間中）
親子で野菜に関する正しい知識を深めましょう
- ・「旬」野菜コーナーの設置普及
量販店への「旬」の県産野菜コーナー設置を進めます
- ・野菜大好きカレンダー（仮称）の配布
小学生に野菜大好きカレンダーを配布し、食に対する興味を深めていきます

お問い合わせ
県流通経済課 TEL018(860)1764

「旬」野菜を使って料理に挑戦！ トマトとなすのイタリアン炒め



トマトは、カロチン・ビタミンCなどの栄養素が豊富で、がんの予防や美肌効果が期待されます。なすは、油やどんな調味料とも相性抜群、色々な食材と組み合わせることで夏ばて予防にぴったりです。

【材料】(4人分)

トマト.....3個
塩・コショウ.....少々
なす.....3~4本
ミートソース.....1/2缶
サラダ油.....大さじ2
ピザ用チーズ.....適量

【作り方】

トマト・なすは一口大に切り、なすは水にさらしておきます。
フライパンにサラダ油を熱し、なすを加えて炒めます。なすがしんなりしてきたら、トマトを加え、塩・コショウをふり、ミートソースを加えてからめます。
ピザ用チーズを加えて、チーズが溶けてきたら出来上がりです。

献立は「JAあきたグリーンページ」
渡部恵美のお料理レシピ 楽々！ほぼ恵美キッチン(<http://www.ja-akita.or.jp/>)より引用

市町村合併に伴いどんなメリット・デメリットがあるのか、関心と不安、ともにいっぱいです。

(24歳・女性・河辺町)

ソウルの魅力紹介、とても参考になりました。機会があったら、ぜひ行きたいと思います。

(57歳・女性・天王町)

「春夏秋冬こぼれ話」を見て、実家のおあちゃんを思い出しました。眼鏡をして腰を曲げて、せっせと笹巻きを作っていました。懐かしく、また食べたいです。

(23歳・女性・秋田市)

「私のおすすめ 秋田の風景」は、秋田のよさを再認識させてくれるので、いつも楽しみにしています。

(31歳・女性・秋田市)

情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などを紹介します。

まちむら
元気ルポ

秋田市

秋田藩ぐるり。
市内観光バス



観光案内人の加藤順也さん(右)と山崎恵津子さん(左)



天徳寺を案内する加藤さん

秋田市内の代表的な観光スポットを巡る観光循環バスが好評です。

このバスは秋田商工会議所が企画したもので、秋田駅西口を出発し、赤れんが郷土館、セリオン、天徳寺、ねぶり流し館、千秋公園の5カ所を巡回します。

一周3時間という手軽さと、「観光案内人」によるガイドが好評の理由のようです。

バスに同乗する観光案内人の方はボランティアで、現在43人が登録しており、バスには毎回二人が同乗します。

取材におじゃました日の担当は、加藤順也さんと山崎恵津子さん。

山崎さんは、バスの中で市内各所の地名の由来や、歴史上のエピソードなどをわかりやすく解説していましたが、実は東京出身の方。結婚を機に秋田に移り住み、県内の色々な場所を訪れたり、歴史を勉強されたということです。

また、加藤さんは「子どもさんたちが乗ったときに、いろんな質問がだされていけば大変だよ」と笑います。

観光案内人と行く秋田藩めぐりの観光バスは、県外の方だけでなく地元のわたしたちにとっても、秋田の歴史や魅力を再発見できる絶好の機会になりそうです。



運行期間 10月27日までの日曜と祝日。竿燈まつり期間中の8月3日(土)から6日(火)まで。午前コースは9時30分、午後コースは1時45分出発。

乗車料金 大人(中学生以上)1,700円、小学生500円
(赤れんが郷土館・セリオン・ねぶり流し館の入場料込み)

乗車券販売所 秋田駅西口バスターミナル・秋田市観光案内所
予約先(10人以上から) 秋田中央交通 TEL018(823)4411

お問い合わせ 秋田商工会議所 TEL018(863)4141

県立近代美術館・特別企画展

横手市赤坂 TEL0182(33)8855

白夜の国からやってきた!「スカンディナヴィア風景画展」

ムックをはじめとする、スカンディナヴィアの代表的画家たちの油彩画76点を展示します。北方ならではの情感あふれる傑作の数々をご覧ください。

日時 7月27日(土)~8月31日(土)

午前9時30分~午後5時(入館は4時30分まで)

観覧料 一般800円、学生600円、小・中学生400円

アトリオン音楽ホール

秋田市中通 TEL018(836)7803

「ウィーン・プラス・アンサンブル」

世界最高のオーケストラ、ウィーンフィルのメンバーによる待望の公演!精緻を極めた黄金のアンサンブルをお楽しみください。

日時 7月14日(日)午後2時開演

料金 一般4,000円 高校生以下1,500円

(全席自由。各プレイガイドにて発売中)



J.C.ダール「山岳の光景」
©Nationalmuseum, Stockholm

遊・学
さんぽみち

県立博物館・菅江真澄資料センター

秋田市金足 TEL018(873)4121

企画展「真澄の署名・印章」

「菅江真澄」は亡くなるまでの20年間に使われた名前で、それまでは白井英二・秀雄・超・真栖などさまざまな名前や雅号が使われました。名前の変遷を資料で紹介するほか、花押・印章・署名のくずし方を形態別に紹介します。

日時 7月16日(火)~9月1日(日)

午前9時30分~午後4時30分

入館料 無料(月曜休館)

「秀雄」銘の短冊





募 集

知事と語ろう「とことんトーク」

県政の課題などを知事と語り合います。定員は各20人(傍聴も可) お申し込みは開催の10日前までに各地方部県民室へ(多数の場合は抽選)

- 【鹿角】
8/2(金) 14:30~17:00
会場 鹿角市「鹿角市中央公民館」
 - 【大館北秋田】
8/3(土) 9:30~12:00
会場 大館市「大館市中央公民館」
 - 【本荘由利】
8/6(火) 14:30~17:00
会場 本荘市 本荘ポートプラザアクアパル
ほかの地域は6月号をご覧ください。
- ◎県総合政策課 TEL018(860)1016

交通安全に関する作品を募集中

対象 小・中・高校生
作文 400字詰原稿用紙2~3枚
ポスター B3または四つ切
募集期間 7/1(月)~9/6(金)
応募方法 各学校で取りまとめて送付

◎県民文化政策課 TEL018(860)1542

秋田県職場総合美術展の作品募集

対象 県内の勤労者(アマチュアの方)
部門 日本画・洋画・書道・写真・工芸・デザイン
募集期間 8/15(木)~9/13(金)

◎県労働政策課 TEL018(860)2304

第2回開業・開店プラン作成スクール

新しく事業を始めたい、自分の店を持ちたいと考えている方を対象に、専門のコンサルタントが事業計画の作り方など開業等に必要ノウハウを指導します。

日時 7/24(水)~25(木) 9:30~17:00
場所 県庁第二庁舎34会議室
申込期間 7/1(月)~18(木)
定員 30人(先着順)
受講料 無料

◎県企業支援センター TEL018(860)5512

**「伝統的工艺品月間」
図画・作文コンクール**

図画(小学5・6年生対象) B3または四つ切
作文(中学生対象) 400字詰原稿用紙4枚以内
募集期間 9/2(月)まで
◎東北経済産業局製造産業課
TEL022(215)7236

小・中・高等学校等の講師募集

少人数学習など、子どもたち一人ひとりに手厚い教育を行うためには、講師の充実が不可欠です。教員免許をお持ちで、人材の育成に意欲のある方はぜひご応募ください。

◎県教育庁義務教育課 TEL018(860)5145
高校教育課 TEL018(860)5163
幼児・養護教育課 TEL018(860)5133

**放送大学・大学院の学生を募集
(10月授業開始)**

テレビやラジオで、好きな科目を選んで学ぶ、放送大学・大学院の学生を募集しています。

募集期間 8/15(木)まで
◎募集要項の請求
放送大学秋田学習センター(秋田大学内)
TEL018(831)1997
<http://www.u-air.ac.jp/hp>

お知らせ

児童扶養手当制度の見直し

平成14年8月から、所得制限の限度額や手当額、所得の範囲などが見直されます。詳しくは、各健康福祉センターにお問い合わせください。(以下、地域名:電話番号)

大館鹿角:0186(52)3951
鷹巣阿仁:0186(62)1275
能代山本:0185(52)5105
秋田中央:018(855)5171
本荘由利:0184(22)5434
大曲仙北:0187(63)5355
横手平鹿:0182(32)3294
湯沢雄勝:0183(73)6100

市にお住まいの方に関する手当の認定事務や支給は、8月から市の福祉事務所が窓口となります。

◎県子育て支援課 TEL018(860)1345

8月はAターン就職促進月間です

「いつかは秋田で働きたい」とお考えの方にAターン登録をお勧めします。登録をしていただきますと、求人情報を提供するほか、就職についてのさまざまな支援を行います。Aターン登録・相談は、県内各ハローワークのほか、東京のAターンプラザ秋田や北海道・名古屋・大阪の

各県外事務所で受け付けています。本人はもちろん家族からの相談もお待ちしています。

◎県雇用対策室 TEL018(860)2332

男鹿水族館ありがとうイベント

平成16年夏のリニューアルオープンに向け、現水族館を8月31日で閉館します。35年間のご来館に感謝し、子どもから大人まで楽しめるイベントを企画して、皆さんのお越しをお待ちしています。

なお、7月23日から閉館日まで、中学生以下の入館が無料となります。

◎男鹿水族館 TEL0185(37)2131

6月1日から運転免許制度が変わりました

道路交通法の一部が改正され、免許更新手続き、有効期間等が変わりました。更新期間が、誕生日の1カ月前から1カ月後までの2カ月間に延長
免許更新時の高齢者講習の対象者が、75歳以上から70歳以上に変更
過去5年間に軽い違反1回(3点以下)の運転者も、免許証の有効期間が5年に延長

◎県警運転免許センター
TEL018(863)1111

**「秋田県難聴者・中途失聴者協会」
設立総会**

県内の難聴者・中途失聴者の福祉の向上を目指す協会の設立にあたり、総会が開催されます(要約筆記通訳あり)

日時 7/28(日) 10時~15時
会場 サンライフ秋田(秋田市八橋成川原)
参加費 1,500円(昼食代含む)

◎秋田県難聴者・中途失聴者協会準備会
TEL・FAX018(834)3695

試験

ケアマネジャーの試験

介護支援専門員(ケアマネジャー)を養成するための「介護支援専門員実務研修受講試験」を実施します。

試験日時 10/27(日) 10時~正午
場所 秋田工業高校(秋田市保戸野金砂町)
募集期間 8/1(木)~30(金)

◎財 秋田県長寿社会振興財団(LL財団)
TEL018(829)3666

宅地建物取引主任者資格試験

試験日 10/20(日)
申込書の配布・受付 7/8(月)~8/2(金)
ただし、持参による受付は7/29(月)から。

◎社 秋田県宅地建物取引業協会
TEL018(865)1671

広報

の窓

「遠い政府」より「近い政府」を

県民行政相談員が知事に報告

県民行政相談員が平成13年度の活動状況をこのほど知事に報告しました。

県民行政相談員は、県政に対する県民の苦情を調査・処理し、必要があれば是正や制度の改善などを県に提言するもので、平成11年5月に設置されました。

佐藤達夫相談員は「説明責任を果たそうとする県職員の意識には相当の変化が見られるものの、県民は県庁との間に見えない敷居や壁をまだ感じている。県民との協働やパートナーシップで県政を進めようというのであれば、県庁はもっと『近い政府』であるべきだ」と述べました。

これに対して寺田知事は「職員の意識改革は一朝一夕にはできないまでも、職員には県民と率直に向き合うよう徹底していく」と約束しました。

昨年度の総受付件数は104件で、12年度より6件増。このうち相談員制度についての照会や事務の担当



知事に報告する佐藤達夫相談員(中)と倉田正義相談員(左)

窓口への紹介などを除き、苦情として受け付けたものは50件となっています。

県政の苦情は 県民行政相談室へ

相談対象 県の行政に対するあなたの利害にかかわる苦情

相談日時 月火木金の午前10時～午後4時

受付場所 県民行政相談室(県庁1階)

●県情報公開課

TEL018(860)1082・1083

FAX018(860)1072

Eメール kujyou@pref.akita.jp

今月の広報番組

テレビ

こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00～11:15

7月 7日 レディース通話110番

14日 県議会だより(11:25まで)

21日 県立総合プールへ行こう!

28日 知事とともに(11:25まで)

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54～22:00

7月 1日 ソウルde夏休み(2)

8日 旬のじゅんさいを採ろう

15日「エンジョイ!カヌー」水と遊ぼう!

22日 田沢湖MTBフェスティバル

29日 樺細工づくりに挑戦

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30～9:45

7月 6日 大太鼓の里～鷹巣町～

13日 高校生社会参加活動セミナー

20日 蔵の町～増田町～

27日 男鹿水族館

ラジオ

県庁だより

ABS 月～金11:45～11:50

モーニングスマイル

エフエム秋田 毎週土曜日 8:30～8:55

春夏秋冬 こぼれ話

シリーズ40

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

町の小さな缶詰屋さんの 最も忙しいタケノコの季節

年間の入った機械を使って 手際よくフタを巻き締める



脱気作業には木製のダシ(せいり)を使う



永井 高徳さん

永井 尊子さん

がんばって採って 来てくれ、父さん 今年は大変だ! おがてねもの

「お願いするんす」、「どつもー、間に合うすか?」、「頼むでー!」など、さまざまな声をかけながらお客さんがタケノコのびっしり詰まった缶を持ち込んでくる。

ここは田沢湖町生保内の缶詰屋さん。六月中旬旬、永井高徳さん(六六)と奥さんの尊子さんは缶詰作りの真っ最中。シューシューと蒸気を出すボイラーの音も忙しそつに聞こえる。

田沢湖町は県内でも有名なタケノコ(根曲がり竹)の産地。地元の人たちはシーズンともなると暇を見つけてはタケノコ採りに出かける。家に着いたらすぐにゆで、皮をむいてから約一晩流水にさらしてアクを抜く。それをあらかじめ受け取っておいた缶に詰め、工場へ届ける。

工場では九〇の蒸気で約四〇分間蒸す。「脱気」作業。直ちにフタをする。「巻き締め」作業。一 一の熱湯で煮沸する「殺菌」作業と、それを冷やす「冷却」作業を経て缶詰ができて上がる。

「細いのは自分の家で食べ、太くて立派なものは缶詰にする。缶詰は家で食うより、子どもや親戚に送るのがほとんどのようだ。タケノコの産地の人は大変だ」と高徳さんは言う。

「加工代は一缶、百十円。でも缶の仕入れやボイラーの油代を引けば、もうけはちよつと。まあ、かあちゃんの小使い程度だな」と高徳さんは尊子さんの顔をチラリと見る。

タケノコのシーズン、高徳さんは工場に居ることは少なく、もっぱら山の中。原料とするタケノコ採りのプロに変身するからだ。

「委託加工のほか、製品の注文も受けているがらな。かあちゃんは気軽に注文を受けることも、探ってくるのは俺。今年は不作で例年並みの量を採るのは絶対無理。もう注文は受けるな!」ってケンカもしよつちゆうたな」と高徳さんは笑う。タケノコシーズンは六月中旬まで。町の小さな缶詰屋さんの忙しさは、もうしばらく続く。



私のおすすめ 「秋田の風景」

「秋田市・黒川油田」 石郷岡 富男さん(秋田市)

大正3年に日産2千キロリットルという日本記録を樹立し、「石油王国秋田」のさきがけとなった黒川油田。朝焼けとたなびく霞の中で、88年の時を刻んだやぐらが今もゆったりとした金属音を山あい響かせながら、田植えを終えたばかりの水田にその姿を映していました。



あなたのお気に入りの風景(自然景観や街並みなど)の写真に、その風景にこめるあなたの思いを100~150字程度お書き添えのうえお送りください。採用された方には図書カード千円分をさしあげます。写真はお返ししませんので、ご了承ください。

カラープリント、サイズは自由。郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢、電話番号をお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課(住所は不要)あてお送りください。

バリアフリー 講座……………その4



IT(情報技術)とバリアフリー

ITは、障害を持った方々の生活にも変化をもたらしています。聴覚障害者の方々は、これまで手話や筆談、ファクスをコミュニケーションの手段としてきましたが、手話をわかる人が少ない、外出先ではファクスが利用できないなどの不便を感じてきました。しかし、今では携帯電話のメール機能を使って、どこでも自由に会話ができるようになりました。

また、インターネットも、社会参加のための貴重な手段となっています。旅行先のバリアフリートイレの所在地や施設のバリアフリー化などの情報収集、メールのやりとりや情報交換などさまざまな利用がされています。

さらに、インターネットを活用した在宅勤務も見られるようになるなど、障害のため通勤が困難な人も、自宅で得意分野を生かして仕事ができるようになりました。

ITは、障害を持った方々にとって「便利なもの」というよりも「必要なもの」になってきています。



森林ボランティア スタンプラリー

森林ボランティア活動に興味のある方、自ら参加したい個人・団体を募集します。

県が実施するスタンプ

ラリー対象の体験講習会 スタンプラリーの参加証等に参加した場合、参加回数に応じてボランティアリーダーとして登録するほか、森林整備グッズが贈られます。

県緑化推進委員会 TEL018(883)0815

または森林環境対策室 TEL018(860)750



ボランティアの様子

クイズ

正解者の中から抽選で、10の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 7月の旬野菜で次のうちカロチンが最も多く含まれるのは?(P4参照)

- (1) トマト
- (2) きゅうり
- (3) とうもろこし

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは7月25日(消印有効)、ハガキ、ファクス(018-860-1072)、Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

5月号の正解は(3)でした。応募366通、うち正解361通の中から抽選で次の方々が当選されました。斎藤アキエさん(小坂町)、工藤杖松さん(二ツ井町)、佐藤リツ子さん(八竜町)、伊藤浩子さん(井川町)、和田美樹さん、宮嶋長一郎さん、林勲さん以上、秋田市)、大坂由紀子さん(大曲市)、伊藤恭子さん(西仙北町)、田中稔さん(横手市)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国秋田ネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。

編集部から

この号が皆さんのお宅に届く頃には、サッカーワールドカップの優勝国も決まっていることでしょう。時差がないので睡眠不足ということはありませんが、応援援れが少し残ったという感じでしょうか。とにかく、日本中がわき返りました。

前号の「生涯学習支援システム」で紹介したジョイナスは、このシステムでの施設の空き状況の確認や仮予約はできませんでした。訂正してお詫びします。



県人口 1,177,197人 (+ 444)
男 557,904人 (+ 407)
女 619,293人 (+ 37)
世帯数 393,905世帯(+2,333)
(平成14年5月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています